

大妻同窓会長野

ご挨拶

一般財団法人大妻コタカ記念会 会長 井上 小百合



大妻同窓会長野の会員の皆様いかがお過ごしでいらっしゃいますか。

度々長野の総会に伺わせていただき、諏訪湖の雄大さや松本の美しい街並み、そして遠くにみえる山並みなどの素晴らしい風景にその都度心と和む思いをし、またそれ以上に長野の皆様とお会いしお話することの楽しさを感じ、とても嬉しく思っております。

昨秋、宮坂会長さんから「大妻神社秋の例祭へ一緒にいかがですか」とお誘いをいただきました。

いつか一度は大妻家発祥の地を訪ねたいと思っていた事が実現でき、更に大妻氏館跡の石碑を見たり大妻神社のほど近くにある野々宮神社に納められている大妻コタカ先生直筆の額を見ることができ心に残る貴重な一日になりました。皆様にお世話になりましたことを心より感謝しております。

納められていた額にコタカ先生は次のように書かれています。

『めがさめて 見ればうれしや 今日また この世の ひととおもえば

今日一日腹を立てぬこと 今日一日嘘をいわぬこと 今日一日悪口を言わぬこと 今日一日何事にも善意に感謝すること 昭和四十九年九月二十二日 大妻女子大学学長 大妻コタカ 八十一才』

これを読むと、凛とした立ち姿で大きな張りのある声でお話になっていたコタカ先生が彷彿としてきます。このような生き方を常に心がけたいと改めて思ったことでした。

創立以来106年目になる現在の大妻女子大学は、大きな飛躍のさなかにあります。昭和42年開学の狭山台キャンパスが平成26年度をもって閉学となり、受け入れる千代田キャンパスの校舎の改築が進み、学部再編成も視野にあります。

時代が変化し価値観の多様化する今の時代にあっても、大妻女子大学は大妻コタカ先生の目指された「恥を知れ」を心に、「社会に貢献できる女性」を多数輩出する女子大学であって欲しいと、多くの卒業生が願っていることではないかと思っています。

同じ学校の卒業生という目には見えない、でも強い絆が繋がったご縁を大切にして、これからも会員の皆様とともに同窓会活動を進めていきたいと思っています。

大妻同窓会長野の益々の発展と会員の皆様のご健勝をご祈念申し上げます。

大妻同窓会 長野 第17回総会

平成25年5月15日(水)

於：松本アルモニービアン2F プール・トウジュールの間

- ★総会
- 1) 開会のことば
 - 2) 代表あいさつ
 - 3) 大妻コタカ記念会会長 あいさつ
 - 4) 協議事項
 - (1) 平成24年度事業報告
 - (2) 平成24年度会計報告
 - (3) 平成24年度会計監査報告
 - (4) 役員改正にあたって・会費未納者への対応について
 - (5) 25年度役員の就退任について
 - (6) 閉会

参加人数18名

大妻同窓会長野 第17回総会報告

代表 宮坂 徳子

前任の古謝八栄子様より引き継ぎをしました宮坂徳子と申します。どうぞ宜しくお願い致します。昨年の総会は、大妻コタカ記念会より井上小百合会長をお迎えして、松本城近くのホテルアルモニービアンで開催いたしました。暑いほどの陽射しに恵まれ、東京よりの初参加の方もいらして、盛会に開催できましたこと、感謝申し上げます。

当日の井上先生のご挨拶に「一般財団となって3年目、講演会や講習会のバックアップに力を入れていきたい」とのお話がありました。

平成24年、大妻女子大学学長に就任された松本出身の萩上絨一先生を講師とする講演会が提案されております。県内ご出身の先生が学長として活躍していらっしゃる事は、私たち同窓会長野としても大きな誇りでございます。講演会実現の運びとなりましたら、これ又大きな喜びと存じます。

冠頭の井上先生のご挨拶にございますが、昨年9月23日松本市梓川俵大妻神社例大祭に井上先生と一緒させていただくことができました。神社地域の方々の心の拠り所として、例祭始め年末年始の神事等行われて来たのでしょう。と同時に大妻家のご先祖が、近隣の方々によって大切に護られている事を思い、深い感動を覚えました。

本年度の総会は、諏訪大社下社秋宮の森に隣接し、本陣宿として300年の歴史を持つお宿といたしました。皇女和宮が泊まれたお部屋、藤村、龍之介、与謝野鉄幹、晶子等多くの文豪が逗留し残した手紙等多くの史料を見ることが出来ます。お一人でも多くの方々のご参加を心よりお願い申し上げます。



大妻同窓会長野第17回総会平成25年5月15日 松本市 ホテル「アルモニービアン」にて

役員紹介

代表	宮坂 徳子	(S38 岡谷市)	
副代表	五味 和子	(S40 茅野市)	遠山 淳子 (S48 伊那市)
会計	宮坂 政子	(S40 岡谷市)	金子 妙 (S62 伊那市)
庶務	浜 江つ	(S32 茅野市)	藤沢真由美 (S56 伊那市)
監事	古謝八重子	(S49 松本市)	楡井 京子 (S40 松本市)

新役員よりひとこと

副代表

五味和子

この度同窓会の副代表という大役をお受けしましたが、立派な宮坂会長さんの足を引っ張るのではないかと心配になります。しかし伝統ある大妻同窓会の発展のために少しでもお役にたてればと思いますので宜しくお願い致します。

短大時代のお友達とは数年に一度は東京で会い美味しいものを食べ近況を報告したり、尽きないお喋りをしたり時間もあつという間に過ぎてしまい、又元気で再会できることを誓いながら別れます。昨年は加賀寮を訪問してからホテルオークラで食事をしながら楽しいひと時を過ごしました。山口県、福岡県からも参加しました。卒業してから半世紀近くになりますが青春時代を共に過ごした思い出はあせなくてこれからも続くことを願っています。

副代表

遠山淳子

◇加賀寮の思い出

本年度副代表をお引き受けした遠山です。

この同窓会長野に参加させていただき、思いがけなく加賀寮で同室だった赤羽（旧姓今井）京子さんに40年ぶりに会うことができて、とても懐かしく感激しました。

加賀寮は、先輩2人と下級生2人で1部屋を共有して、毎日夜になると部屋ごとにお茶会（今流行りの女子会）があり、全国の名物（富山の鱒寿司、岩手の南部せんべい、赤福、うなぎパイ…）などをたくさん食べて楽しい青春を過ごさせていただきました。

そんな大妻の皆さんに5月15日にお会いできるのを楽しみにしています。

会計

宮坂政子

この度会計の役をお受けしました。日ごろ勤務に明け暮れて心のゆとりもなく過ごしています。今思い出して大妻に入学した頃は、世の中全てが新鮮で楽しくて又少しは恋心をときめかせてお友達と話を弾ませていたものでした。学校での勉強も復からついて行き卒業の門を出ることができました。大妻の長野支部が発足されたのは平成9年です。ここで16年目となり月日の速さに驚いています。孫娘も16歳になり大学受験の年齢になりました。大妻に行きませんかと話しています。学部も増えきつと気に入ってくれるのではないかと今から楽しみに待っています。そのためにも大妻の同窓会会員で支部活動も協力できるのであればと微力ですが役員に加えさせて頂きました。よろしくお祈りします。

会計

金子 妙

あれは確か平成14・15年の会計を務めさせていただきましたがもう10年が過ぎたのですね。あの頃何度か総会と一緒に出席した上の娘はこの春、大学生になりましたが、下の娘はまだ小学4年生と年の離れた姉妹の育児と仕事にと未だ奮闘中です。偶然にも子供の幼稚園が一緒という事から庶務の藤沢さんには今でも姉のように大変仲良くしていただいています。お話をいただいた時は仕事の関係で休みが自由に取れない現状の私ではかえってご迷惑をかけてしまうという思いもありましたが、名前だけでもというお話でしたのでお引き受けしました。役員の皆様には大変お世話になります。よろしくお祈りします。大妻コタカ記念会長野支部のこれからの益々のご発展をお祈り申し上げます。

庶務

浜 江つ

縁あって、大妻同窓会長野に入会しました。知恵尽き、力果てかける年齢ですが、大妻先生の偉業の恩恵に導かれた同窓生との交流を楽しみにしています。他の役員さんのご指導によってお手伝いさせていただきます。よろしくお祈り致します。

庶務

藤沢真由美

◇同窓会について

私が長野支部会に出席したきっかけは会報の一枚の写真でした。そこにいたのは子供の幼稚園が一緒の、金子妙さんでした。妙さんに誘われ支部会に参りますと、私と同じ伊那市にお住まいの方も数名いらしていました。又私は茶道を勉強しておりますが、同じ裏千家の松本の先生方ともお知り合いになれました。

妙さんとは出身地も学年も違ったのに、今ではサックスのアンサンブルを組んで毎週練習に励んでいます。又南信では元支部長の野溝和子さんを囲んで、天竜大妻会（極妻みたい）として1年に1・2回お食事会など楽しんでいます。それから、伊那でお茶会がある時には松本から折井先生がお出かけくださり、お声をかけてくださいます。本当に同窓会の繋がりがって素敵だと思います。長野支部には思いがけない出会いがあり新しい友達の輪が広がります。是非おかけになりませんか。



大妻コタカ 萩鏡女学校での卒業作品 明治37年

「明治37年に写った大妻コタカの
 20歳の姿は優しい大和撫子を
 思わせる姿だが、
 丁寧に見ると、必要なら
 決意もでき勇気も出せる
 日本の母の原像が見える」

ドナルド・キーン

大妻コタカ先生 生誕130年記念
 全国紙新聞広告より
 (平成25年6月16日)

平成24年度 大妻同窓会長野 決算報告

自 平成24年 4月1日
 至 平成25年 3月31日

収入の部

費 目
長野会費
同窓会援助金
祝い金
総会時会費
前年度繰越金
雑収入
合計
(前受金)

)
 |
 |
 |
 |
 |
 |
 |
 |
 |

上記の通り決算

平成25年3月31日

会計 五味和子 (印)

会計 榎井京子 (印)

平成25年3月31日

監事 清野悦子 (印)

監事 山口のぶ子 (印)
 代理 折井理香子 (印)

大妻神社の例祭

※一部記念会ブログより転載

秋晴れのさわやかな日となった9月23日（月）、大妻家のルーツである長野県松本市梓川俣の大妻神社で秋の例祭が行われ、大妻コタカ記念会会長井上小百合先生と同窓会長野の役員3名が例祭に参列しました。



神事の始まる前に総代の太田さん方からご接待をいただきました。



舞姫、宮司さん、井上会長、総代の方々と



社の中には大妻コタカ先生が落成記念として書かれた額が掲げられていました。総代の中のお一人からその方がまだ小さい頃、おじいさんのところによくコタカ先生がおいでになったというお話も伺いました。



この石碑は「ごもくめし」にも載っている大妻氏館跡を示すものです。

大妻コタカ先生の過去の参拝の際、記された額を見せていただいたり、先祖の館跡の石碑もを見せていただきました。社殿での巫女の優雅な舞や大妻の法被の若者たちの引く山車など拝見し、感動を覚えると共に大妻家御先祖の厚いご加護を頂きました。

浜 江つ

大妻神社秋の例祭に参加して

5年ほど前に大妻神社と大妻大学とのご縁を知りました。野々宮神社の総代をされている上島さんからお伺いした話では「コタカ先生が大妻神社に大幟旗を奉納された時お会いし、元気なお声の方でした」とのことでした。

又中沢さんという大妻神社に詳しい方がいらつしゃると紹介され、お電話でいろいろお聞きしました。大学から大勢の先生方がお見えになり中沢さんの家に立ち寄られたとの事です。先日ブログで井上先生が総代の中のお一人からその方がまだ小さい頃、おじいさんの所にコタカ先生がおいでになったという記述がありましたが、そのおじいさんの家は中沢さんの家かもしれませんね。神社に参拝しながらふと昔に思いをめぐらしロマンを感じ帰路につきました。

宮坂政子

大妻同窓会長野平成26年度総会のご案内

- 1. 日 時 平成26年 5月15日 (木) 午前 11時～ 受付
11時30分～ 総会・懇親会
- 2. 会 場 下諏訪町 聴泉閣 **かめや**
皇女和宮のお宿・文豪ゆかりの宿・諏訪大社下社・綿の湯など歴史と文学にふれる宿です。
総会后散策を予定しています。
- 3. 会 費 6,500円

註、お手数でも出欠席にかかわらず同封のハガキを**4月30日(水)** 必着で返信くださいますようお願いいたします。

連絡先 宮坂徳子

総会にはこの会報をご持参ください。

会費納入のお願い

会費未納又は平成25年度で会費の切れる方には振替用紙を同封しております。

振込先 郵便振

2

1年間 1,000円

振込み手数料

★他の金

振込先

銀	_____
金	_____
店	_____
店	_____
預	_____
口	_____
カ	_____
(受)	_____

訃 報



元支部長

山口 のぶ子様

平成25年11月27日にご逝去されました。

平成21年度、22年度支部長として支分会則見直しなど会発展のために尽力されました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

※大妻コタカ記念会への入会もお願いいたします。会員の方には「ふるさと」の会誌が配布されます。現在の母校の様子等が細かく記載されております。

編集後記

社会の変動の時期、大妻の校訓のもとに、同窓の絆はより深く強く根付いています。秋の大妻神社の例祭に参加して、学院のゆるぎない発展を確信しました。

これからも同窓会の皆様の楽しく集える場になりますようお願いいたします。

浜 江つ 藤沢真由美

発行者・・・大妻同窓会長野

〒

〒

宮坂徳子 TEL

発行日・・・平成26年3月31日

印刷所・・・(有)ミヤサカ印刷

松本市島立 1144-1

0263-47-3017